

雲鷹丸 第12次航 鯉巾着網漁実習試験報告

大正3年5月14日 前次海洋調査航海を終りて品川に帰着し、直ちに本航海用食糧、清水等搭載に着手す。

5月17日 石炭35屯補充搭載をなし、午後2時終了して直ちに抜錨浦賀に向ひ、午後6時浦賀に着し、巾着網用艇を吊垂すべきダビット取付工事に着手す。

5月22日 ダビット取付方及海事官検査終了す。

5月23日 午前6時浦賀抜錨、8時半館山到着す。此日下田技師及巾着網漁夫佐藤銀治郎外7名乗組み、巾着網搭載す。

5月24日 皇太后陛下の御大葬に付休業謹慎。夜11時一同甲板に整列して遥拜式を行ふ。

5月27日 午前2時半館山を発し、大島沖合回航視察し、2回魚群を見て追跡したるも浮沈の変化速かにして隠見定めなく、遂に投網の機を得ず、其夜9時館山に帰港投錨す。

5月28日 午前5時50分館山を発し、野島(岬)沖合に至りしも風浪生じて従漁に適せざるを以て、館山に帰港す。此日追加漁夫磯邊竹蔵外3名を傭上ぐ。

5月29日 午前2時半館山を発し、野島岬沖合巡航視察し、午後4時鴨川沖(140°8' E 34°58.5' N)に於て魚群に遭ひ、投網し41尾を捕獲し、日暮終業す。此時風浪漸次増し、天候陰悪の兆をし来りたるにより漁具漁艇を収容し、帆走漂泊法を執る。 ← 左

5月30日 荒天漂ちゅう。 ← 蹶

5月31日 天候快復。天測の結果前日午前6時より本日正午に至る30時間に於て、北東/北107海里(3.7ノット)の海流ありしを発見す。是より汽走し、魚況を視察しつつ外房州沖に向ふ。

6月 1日 午前九十九里浜沖に於て鯉群を認め、漁艇を下ろして曳航す。午後3時140°45' E 35°5' N に於て投網し、187尾を捕獲す。日暮艇を収容して帆走す。

6月 2日 東風浪高くして雨あり。就漁し難きを以て館山に向け、午前11時50分投錨す。

6月 3-5日 暴風雨。

6月 6日 天候稍復したるを以て、午前5時館山を発し野島沖、七浦、清澄沖等を巡航搜索したるも好群に遭はず。日中に及んで南西風漸々募りたるにより帆走に変じて縫航搜索を行ふ。

6月 7日 朝風浪静定したるを以て、午前4時艇を用意して汽走し、清澄沖より野島沖大島東側方の間を巡航搜索したるも魚群を認めず、午後に至りて復た南西風浪生じたるを以て艇を収容し、下田方面に向ひつつ搜索を続行したるも遂に見る所なく、午後7時下田に入港す。

6月 8日 午前3時下田港抜錨、八丈島方面に向ふ。途中魚群を認めず、午後7時八丈島神港(湊)に投錨す。

6月 9日 午後1時同島洞輪澤に転錨す。

6月10日 午前7時洞輪澤を発し、八丈島西側を経て漸次北進搜索したるも、更に魚群を認めず。其夜三宅島東側を通航す。

6月11日 午前6時大島波浮港外に至りて停船し、漁況調査の爲め下田技師は小艇にて同港

に立寄る。8時同技師帰船、同時付近に鯉群を認め、直ちに出漁準備をなし、左記(下記)3点に於て3回投網し、鯉1,600余尾を獲、午後4時終業、8時半館山に到着す。

第1点 34°39' N 139°29.5' E

第2点 34°41' N 139°30' E

第3点 34°42' N 139°31' E

6月12日 漁獲物を陸揚げし、氷並に罐水搭載をなし、午後1時半出港したるも風浪の為め復針し、午後3時半再び館山に投錨す。

6月13日 午前6時半抜錨、大島南側より西側を周り伊豆東側方面を搜索し、更に大島北側より北東側を観察したるも鯉群を認めず、午後7時洲ノ鼻(洲崎)の北側に仮泊す。

6月14日 午前2時20分抜錨、外房州七浦沖に向ふ。午前7時清澄沖に至りて無数の鯉群に遭ひ、直ちに出漁したるも、北東風あり且つ魚群移動速かにして遂に投網功を奏せず、午後7時布良沖に至りて仮泊す。

6月15日 午前4時20分布良沖抜錨、11時清澄沖(140°10' E 34°59' N)に於て魚群に遭ひ、投網3回にして10,100余尾を捕獲し、日暮鴨川泊地に仮泊して天明を待ち、再挙を謀ん。

6月16日 午前2時半南西風吹来し、出漁の見込なきに至りしを以て館山に向け抜錨し、午前9時半館山に投錨し、漁獲を陸揚げし、天候の静定を待つ。

6月17 18日 暴風。

6月19日 夜来天候稍沈静したるを以て、午前2時館山を発し、早朝野島沖に至り漁艇を曳きつつ漸次東北東方に進航し、午後3時勝浦の南西約7海里に至りて、一小魚群を認め、直ちに投網したるに、ソーダ鯉数尾を獲たり。日暮漁艇を納めて帰路に就き、夜半過ぎ館山に投錨す。

6月20日 漁艇漁具の揚陸並に前期に陸揚し置きたる本船用諸円材、端艇等の運搬に従事す。

6月21日 前日の作業を続け、午後5時終了す。此日高津商店漁業部員七田末吉下船す。漁夫4名を解傭す。

6月22日 午前9時館山抜錨、午後2時品川沖に投錨す。午後4時下田技師退船、5時生徒全部退船。

6月25日 巾着網漁夫8名を解傭す。

右(上)及報告 也

← 3/4

正午表(大正3年5月至6月)

省略

直航距離計 1,219 哩

大正3年6月26日

雲鷹丸船長 浅利孝爾

水産講習所長 下 啓助 殿

-2-

12-2 (65)